

「子どもの高次脳機能障害」



2019年3月16日（土）

会場 調布市文化会館 たづくり 8階

時間 14:00 ~ 15:30

講師 中村 千穂 氏

高次脳機能障害を持つ家族の会ハイリハキッズ 代表

演題 「子どもの高次脳機能障害 一家族の想う支援のあり方」

費用 500円（参加費） * 学生は無料

主催：早稲田大学校友会 調布稲門会 ボランティア・ネットワーク Bor・n

「高次脳機能障害」とは？ 聞きなれない言葉と思われる方も多いと思います。

事故によって、また、脳血管の疾患などによって、脳に外傷を受けた際に、様々な症状がおこることがあります。知覚や認知、感情にも影響を及ぼすことがあります。

子どもの時に、こういった外傷を脳に受けると、発達の中で様々な困難が生じます。

なかなか理解されにくい、「高次脳機能障害」。中村氏には、これから社会に巣立っていくハイリハキッズのご家族の立場から、街中でどんな支援が必要なのか、分かりやすくお話しいただきます。

◎ 講師紹介



中村千穂氏 プロフィール

石川県白山市出身。御長男が、3歳11カ月の時に集団食中毒から急性脳症、脳内出血、脳梗塞を発症。高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会「ハイリハキッズ」（2007年発足）の代表として、昨年だけでも、福井、長崎、富山、京都、と全国を飛び回り活動や支援について多数講演をされています。

- ◆高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会ハイリハキッズ代表
- ◆NPO 法人日本高次脳機能障害友の会 キッズネットワーク代表
- ◆公益社団法人日本てんかん協会東京都支部事務局長
- ◆日本てんかん協会月刊誌「波」、東京支部月刊誌「ともしび」編集委員
- ◆一般社団法人日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会理事

<問い合わせ・申込み>

坊野 美代子 TEL : 090-2174-0187

Eメール : m-bouno@mti.biglobe.ne.jp